資料2

202407都市計画課

川越市立地適正化計画見直し説明会
地区別の災害リスク

古谷地区・南古谷地区

地区別の災害リスク（古谷地区）[ミクロ分析：洪水浸水深・内水氾濫・土砂災害]

＜古谷地区全体の特徴・リスク＞

都市機能誘導区域・居住誘導区域

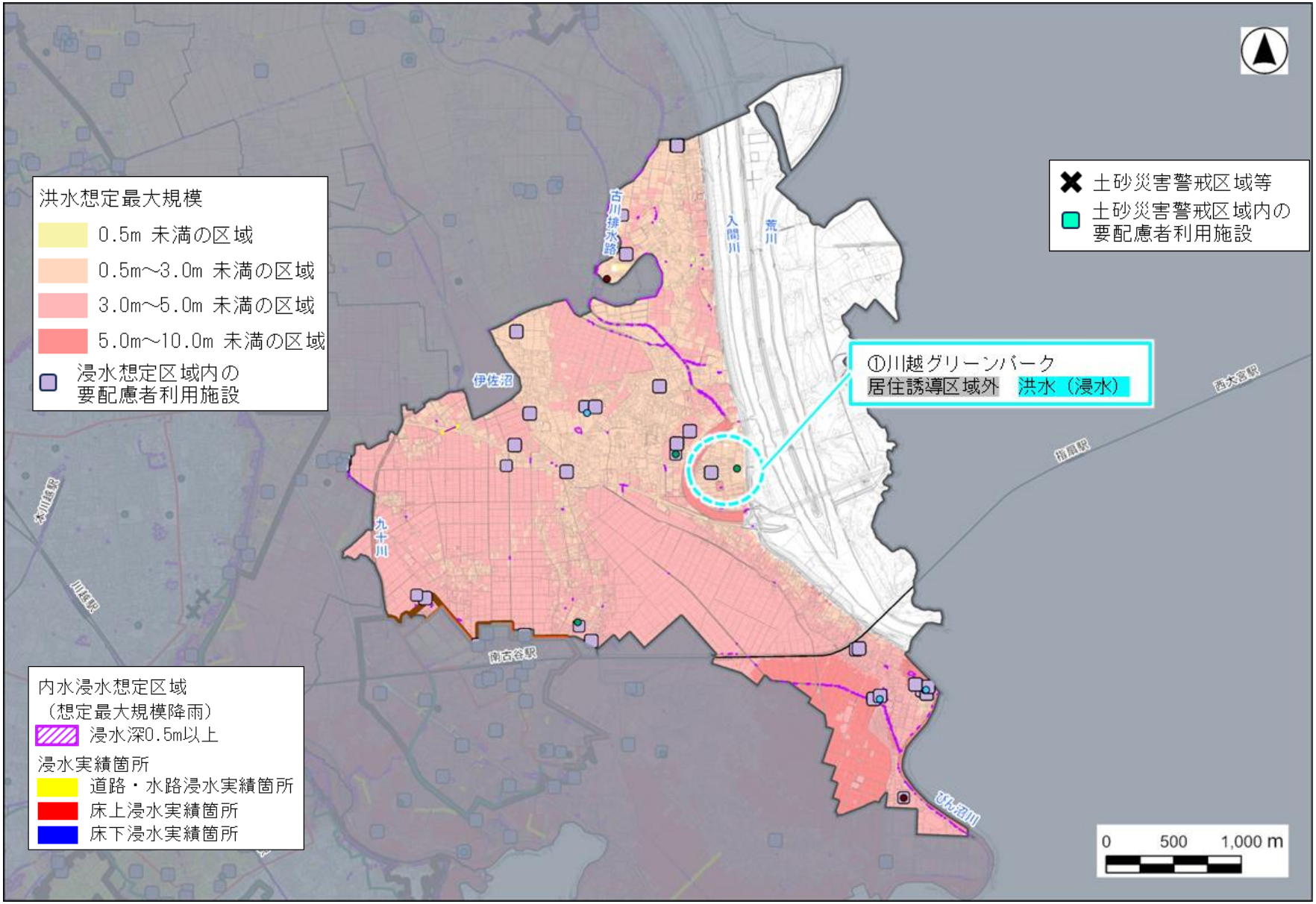
- 地区全体が居住誘導区域外となっている。

洪水（浸水）

- 地区全体が低地帯で床上浸水のリスクがあるエリア（浸水深0.5m以上）となっている。また、3.0m以上の浸水が想定されるエリアも広く分布しており、２階まで浸水がおよぶ可能性があることから低層の家屋においては垂直避難が困難となる。これらのエリアには要配慮者利用施設が複数立地している。

特に留意すべきリスクがあるエリア名（次のページの図中の丸番号に対応）	説明
①川越グリーンパーク 居住誘導区域外　洪水（浸水）	荒川・入間川と水路に囲まれており、人口、高齢者人口ともに比較的多いエリアとなっている。洪水による床上浸水のリスク（浸水深0.5m以上）がある。

地区別の災害リスク（古谷地区）[ミクロ分析：洪水浸水深・内水氾濫・土砂災害]



地区境界　都市機能誘導区域　避難所等

市街化区域　居住誘導区域　避難所　避難場所　福祉避難所

0712古谷

地区別の災害リスク（古谷地区）[ミクロ分析：洪水浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域]

＜古谷地区全体の特徴・リスク＞

家屋倒壊等氾濫想定区域

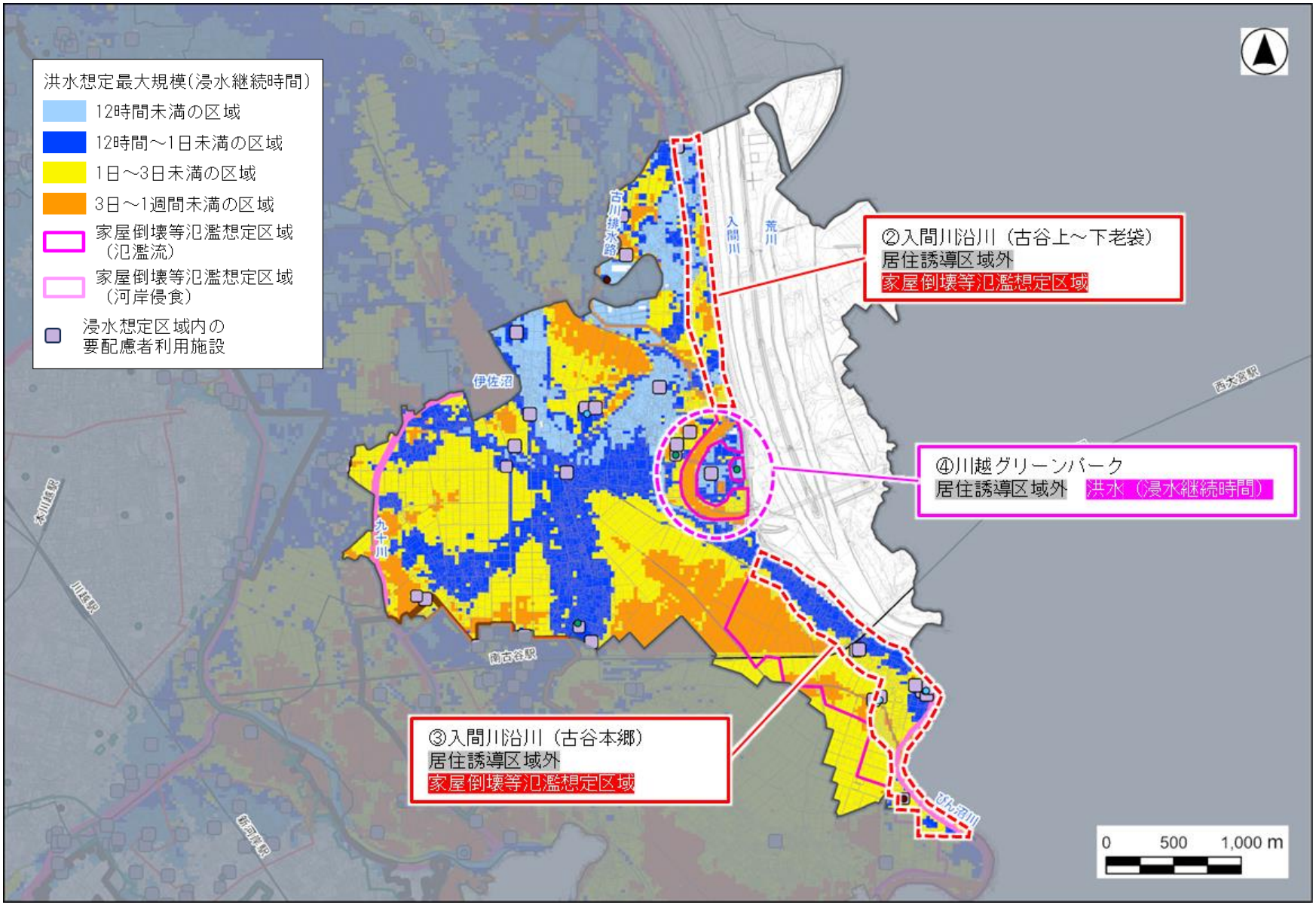
- 地区東部の荒川・入間川の沿川に家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）が存在している。

洪水（浸水継続時間）

- 地区内に広く浸水継続時間が1日以上のエリアが分布し、場所によっては3日以上浸水が継続するエリアが存在する。浸水が始まると屋外への避難が困難となり長期孤立するおそれがある。浸水継続時間3日以上のエリアには要配慮者利用施設も多く立地している。

特に留意すべきリスクがあるエリア名（次のページの図中の丸番号に対応）	説明
②入間川沿川（古谷上～下老袋）、 ③入間川沿川（古谷本郷） 居住誘導区域外　家屋倒壊等氾濫想定区域	家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）内に家屋が多く立地しており、洪水時に木造家屋が倒壊・流失するおそれがある。
④川越グリーンパーク 居住誘導区域外　洪水（浸水継続時間）	周囲を囲む水路付近が浸水継続時間３日以上のエリアとなっており、在宅避難者は長期孤立するおそれがある。また、エリア内には要配慮者利用施設も立地している。

地区別の災害リスク（古谷地区）[ミクロ分析：洪水浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域]



地区境界　都市機能誘導区域　避難所等

市街化区域　居住誘導区域　避難所　避難場所　福祉避難所

0712古谷

地区別の災害リスク（南古谷地区）[ミクロ分析：洪水浸水深・内水氾濫・土砂災害]

＜南古谷地区全体の特徴・リスク＞

都市機能誘導区域・居住誘導区域

- 地区北西部の南古谷駅周辺に都市機能誘導区域が設定されているほか、その周辺が居住誘導区域に設定されている。地区東部の居住誘導区域外においても既存の集落等が広がっている。

洪水（浸水）

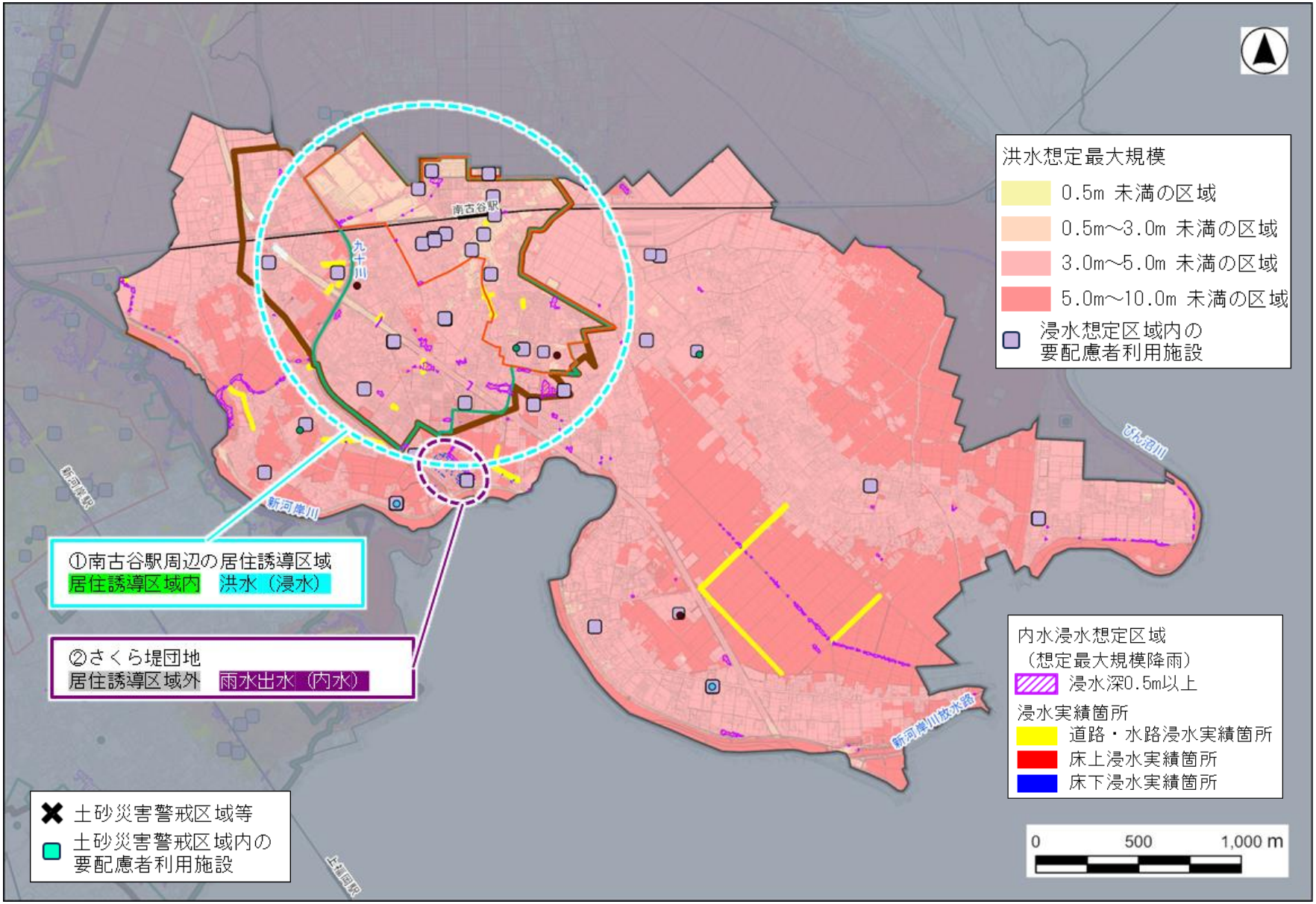
- 地区全体が低地帯となっており、地区東側をびん沼川、南側を新河岸川、地区西部を縦貫するように九十川が流れる。地区内のほぼ全域に浸水深3.0m以上の浸水が想定される。２階まで浸水がおよぶ可能性があることから低層の家屋においては垂直避難が困難となる。また、地区全体にわたり、浸水深3.0m以上のエリアに要配慮者利用施設が多く立地している。

雨水出水（内水）

- 道路の浸水実績がある箇所が地区内に広く点在している。

特に留意すべきリスクがあるエリア名（次のページの図中の丸番号に対応）	説明
①南古谷駅周辺の居住誘導区域 居住誘導区域内　洪水（浸水）	市街地が形成されており、人口、高齢者人口ともに比較的多い地区となっている。洪水による床上浸水のリスクがあり、垂直避難が困難な家屋が多い。また、中頻度（50年に一度）の確率で床上浸水するリスクがある。
②さくら堤団地 居住誘導区域外　雨水出水（内水）	過去にエリア内の多くの家屋が床下浸水した実績があり、内水氾濫のリスクが高いエリアである。

地区別の災害リスク（南古谷地区）[ミクロ分析：洪水浸水深・内水氾濫・土砂災害]



地区境界　都市機能誘導区域　避難所等

市街化区域　居住誘導区域　避難所　避難場所　福祉避難所

0712南古谷

地区別の災害リスク（南古谷地区）[ミクロ分析：洪水浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域]

＜南古谷地区全体の特徴・リスク＞

家屋倒壊等氾濫想定区域

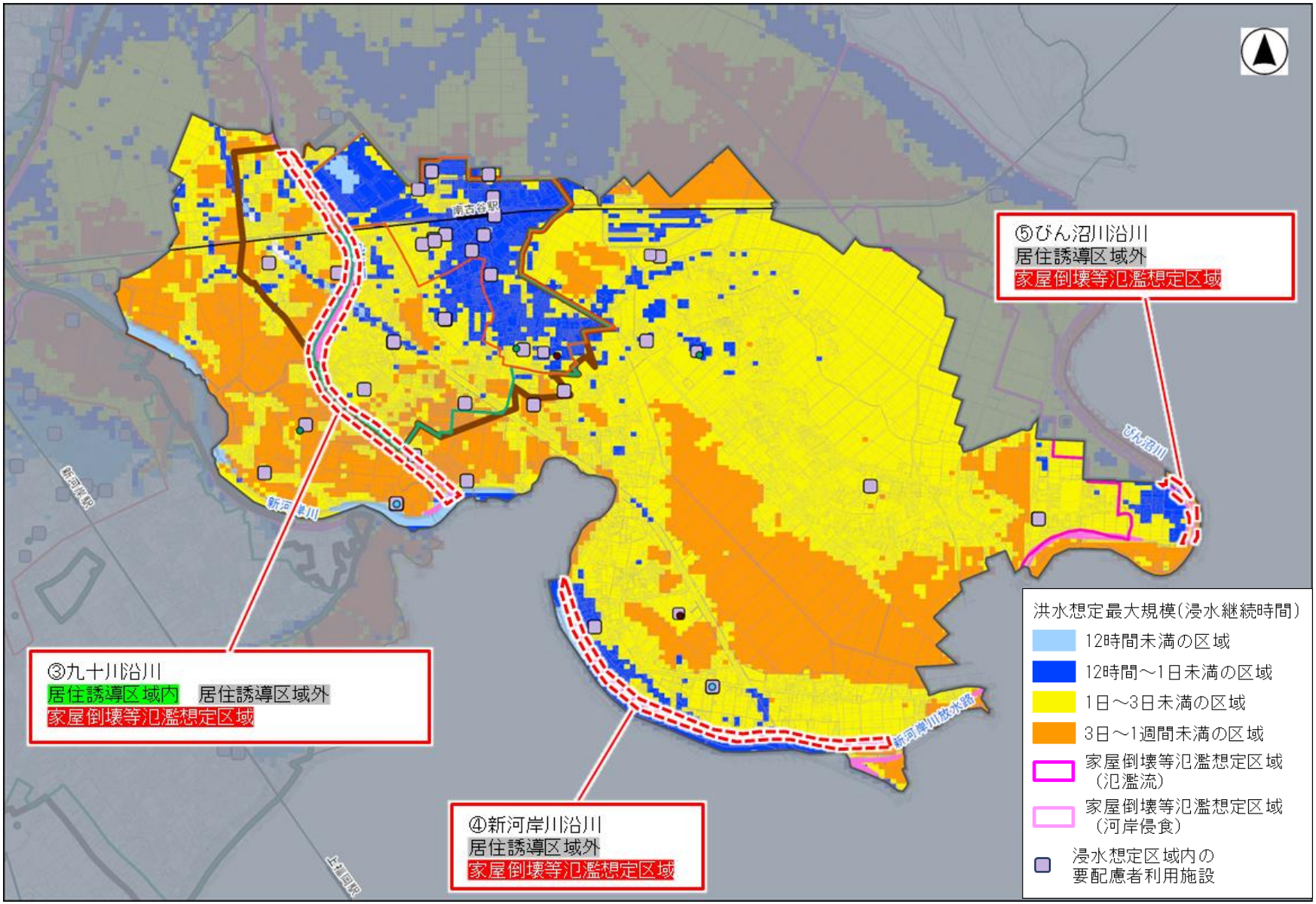
- 新河岸川、びん沼川、九十川の沿川に家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）が分布しており、九十川の左岸部は居住誘導区域となっている。

洪水（浸水継続時間）

- 都市機能誘導区域以外の居住誘導区域や居住誘導区域外のエリアでは1日以上、場所によっては3日以上浸水が継続するエリアが広がり、在宅避難者は長期孤立するおそれがある。浸水継続時間3日以上のエリアには要配慮者利用施設も多く立地している。

特に留意すべきリスクがあるエリア名 （次のページの図中の丸番号に対応）	説明
③九十川沿川 居住誘導区域内　居住誘導区域外 家屋倒壊等氾濫想定区域	市街地が形成されており、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）内に家屋が多く存在するため、洪水時に家屋が流出するおそれがある。
④新河岸川沿川、⑤びん沼川沿川 居住誘導区域外　家屋倒壊等氾濫想定区域	集落等が形成されており、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）内に家屋が多く存在する、洪水時に家屋が流出するおそれがある。

地区別の災害リスク（南古谷地区）[ミクロ分析：洪水浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域]



地区境界　都市機能誘導区域　避難所等
市街化区域　居住誘導区域　避難所　避難場所　福祉避難所

0712南古谷